

建築主：香取市
設計：株式会社 坂倉建築研究所
施工：清水建設株式会社 千葉支店
所在地：香取市佐原イ1903-1

入賞

一般建築物の部

～技術による復原で、ルネサンス様式復活～

三菱銀行佐原支店旧本館

香取市佐原の「重要伝統的建造物群保存地区」に大正3年に「川崎銀行佐原支店」として建設され、平成3年に県指定有形文化財となった煉瓦造の建物は、まち並みに調和した美しい建物である。平成23年の東日本大震災の被害を受け内部開放は見合わされていたが、令和元年度から令和3年度にかけて耐震補強工事と復原・修復工事を行い佐原三菱館として一般開放されている。

まず、耐震補強工事は建物の内外観の姿を残す為、煉瓦壁の中に鋼棒を入れ、鉄骨トラスを屋根裏と回廊に廻すことにより補強材をほぼ見えない状態にすることで修復を可能にしている。また、保存・活用していく上で、必要な内外装の修理他、外壁煉瓦、



内観(2階回廊から公衆室方向)

(撮影全て/藤井浩司 Koji Fujii / TOREAL)

ドーム屋根、営業カウンター、暖炉等の内外装を当初の状態とすべく、当時の図面や記録写真を参考に材料調達・分解調査・施工実験等を元に施工方法の再現をすることで、大正3年当初の状態に復原されたことの良く分かる建物である。施工者の技術努力に感謝したい。そして、保存・活用のスタートがなされ、佐原のまちのシンボリック的存在である有形文化財が、今後も大切な建築文化として末永くそして丁寧に利用され続けることを切に期待したい。保存地区をまちぐるみで大切にしている努力に感動した。(竹江 文章)



外観(北西側)

建築主：日本郵便株式会社
設計：日本郵政株式会社 一級建築士事務所
施工：住友林業株式会社
所在地：南房総市加茂2695-3

入賞

一般建築物の部

～地域のみんで成長する郵便局をみんなで一緒に作っていく～

丸山郵便局

南房総の田園地帯に位置する「丸山郵便局」は、環境に配慮した「+（ぶらす）エコ郵便局」の全国第1号店舗として建設された木造の郵便局で、CLTの特性を活かした大きな庇と焼杉板の外壁が印象的な建物だ。地域の誇りとなり、愛着を持ってもらえる郵便局を目指し、「みんなで作るみんなの郵便局」をコンセプトに掲げている。

外壁の焼杉は地域の郵便局を作っていくという体験を共有するために、千葉県産の杉板を「三角焼き」という伝統的な方法で、地元の親子約60人と郵便局関係者約40人がチームになり地元企業に協力してもらい製作した。木を植え、育て、伐採加工、木を使う。そしてまた木を植えるという森



敷地は南房総の田園地域に位置しています

の循環のひとつの焼杉づくりに

地域の子も達が参加することで自分たちの郵便局という意識が自然と芽生える。

内装も木の香りと温かみが心地良く感じられるよう、天井をCLT現しとして、家具やベンチにもCLTを積極的に使っている。外部の庇から内部につながるロビーは窓口事務室と一体的につながる豊かな空間となっている。

みんなで作った丸山郵便局は、地域の人たちが気軽に立ち寄れる拠点であり、地域に根ざす郵便局のプロトタイプの1つを提案できた。今後の郵便局の展開に期待している。(藤本 香)



地域の子も達と千葉県産材を使って焼杉を作り外壁に使用しました